



2019年のふれあいコンサートで家族と演奏する荒川知子さん(左)＝NPO法人ちば特別支援教育提供

障害への理解 旋律に込め

ふれあいコンサート きょうオンラインで

音楽を通じて障害がある人への理解を深めてもらう「ふれあいコンサート」が12日、オンラインで開催される。千葉市出身でダウン症のリコーダー奏者荒川知子さんら、障害がある人たちが演奏やダンスを披露する。

コンサートは、特別支援学級の元教諭らでつくるNPO法人ちば特別支援教育が主催し、2011年に始まった。例年、県教育会館(千葉市)などで開催してきたが、昨年はコロナ禍で

見送り、今回初めてオンラインでの実施を決めた。6団体が出演する予定だ。

荒川さんはフルート講師の父とピアノ講師の母をもち、兄の洋さんは東京ニューシティ管弦楽団の契約首席を務めるフルート奏者。「ファミリーアンサンブル」として家族で毎回、コンサートに出演している。

12日午後5時開演。同法人のユーチューブチャンネルから無料で視聴できる。(藤谷和広)